

令和6年5月27日

那賀医師会 会員各位

那賀医師会

地域医療担当理事 田中 賢

## 令和6年度 第2回公立那賀病院との合同勉強会のご案内

公立那賀病院との合同勉強会を下記のとおり行います。ご多忙中とは存じますが、多数のご参加をお願い致します。

### 記

日 時：令和6年6月13日（木）午後4時から

場 所：公立那賀病院 北別館 1階講義室

演 者：公立那賀病院 乳腺呼吸器外科

中西 仁美 先生

演 題：「乳癌の周術期の薬物治療について」

抄 録：

乳癌は女性の癌罹患数第1位（2019年）、死亡数第4位（2022年）と上位を占める癌であり、年々その罹患数は増加していると言われている。早期乳癌をなるべく見逃さず適切に診断し、治療に介入することが我々乳腺外科医としての使命と考える。

早期乳癌における初期治療の目的は、原発巣・腋窩リンパ節転移への局所療法（外科療法＋放射線療法）と全身療法（薬物療法）により潜在的な微小転移を根絶・制御し、治癒およびより長い生存期間を目指すことである。初期治療での薬物療法は、例えば内分泌療法なら10年間と長期にわたることが多い。それぞれの患者が初期治療を完遂できるような薬物の選択や副作用のマネジメントは非常に重要である。周術期の薬物療法は乳癌のサブタイプ、進行度などに応じて決定する。

今回は、サブタイプに応じた薬物療法の種類、化学療法の選択、近年適応が拡大した薬剤、注目されている免疫チェックポイント阻害剤や遺伝性乳癌の治療薬、およびそれらの注意すべき副作用について説明する。

※この勉強会は日本医師会生涯教育講座：1単位

カリキュラムコード：（10）を申請中です。

※お手数ですが、B会員の先生方にもご案内下さいますようお願い致します。